

定期的な調整も自動でバッチリ！！ SelfCorrection 設定

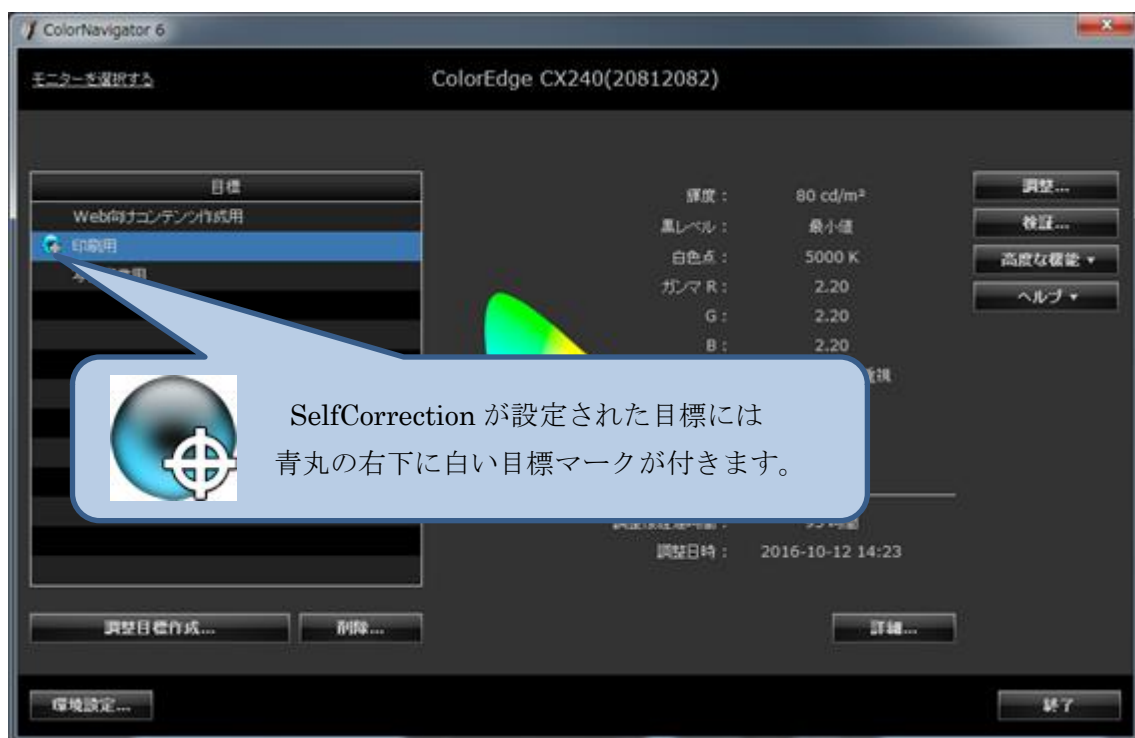
対象機種：CS230, CX241, CX240, CX270, CX271

定期的な自動調整 (SelfCorrection) を有効にするために、**モニターの電源を入れて画面を表示したまま 60 分以上待ってください！ (この作業をエージングといいます。)**
その後に、ColorNavigator 6 でキャリブレーションを行きましょう！！

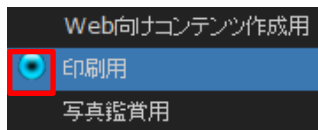
上記対象機種には、定期的な調整を自動で行えるコレクションセンサーが内蔵されています。

その設定手順は**非常に簡単**です。

モニターの画面を 60 分以上表示してから ColorNavigator 6 とキャリブレーションセンサーを使ってキャリブレーションを行えば、**自動で** SelfCorrection が設定されます。手動での設定は不要です！



ただし、白い SelfCorrection 目標マーク () が付かない場合は以下の項目を確認してください。



SelfCorrection 目標マークがない場合

■ 確認①

モニターのエージング (ウォーミングアップ) は 60 分以上行いましたか？

(ご注意) 測定器を取り付ける時に下記のメッセージが出ている場合は 60 分経過していません。



■ 確認②

モニターを 60 分エージングする途中で、モニター画面が消えていませんか？ パソコンのスリープやパソコンの再起動、モニターの電源オフ/オン後は、改めて 60 分エージングが必要です。

■ 確認③

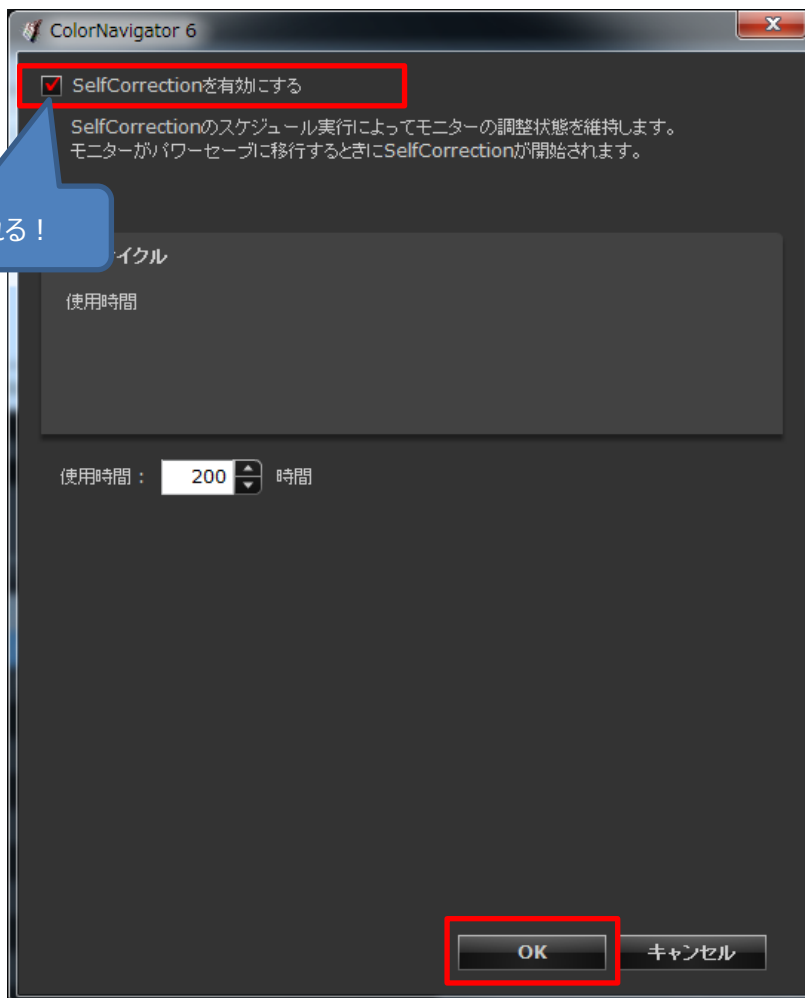
SelfCorrection 設定は有効になっていますか？ (初期設定はモデルによって異なります)

<確認方法>

1 「高度な機能」メニューから、「SelfCorrection 設定」を選択する。




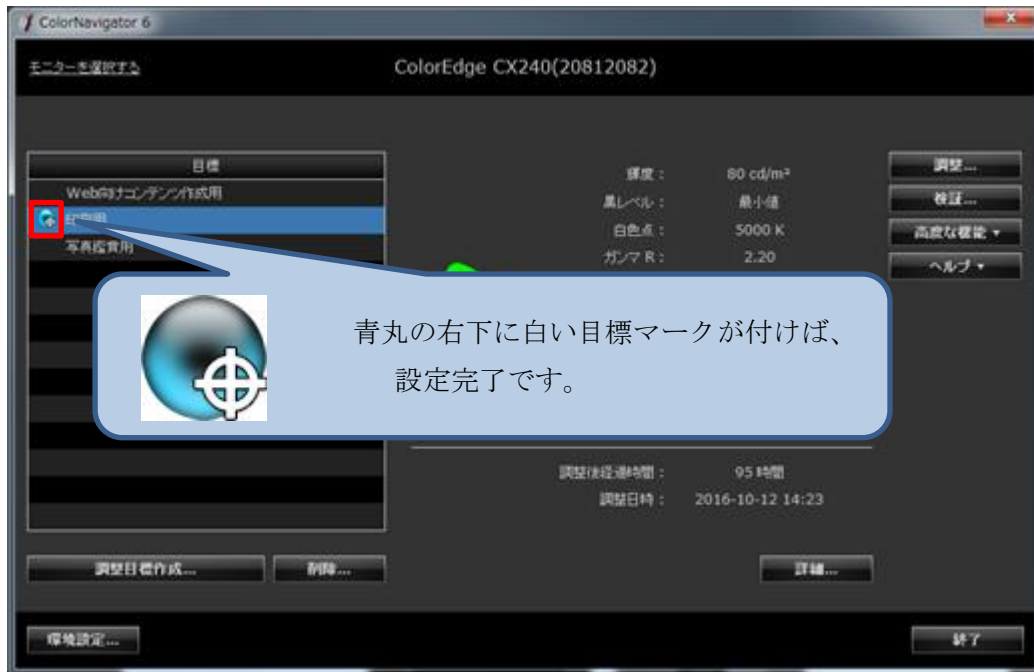
2 「SelfCorrection を有効にする」にチェックが入っていることを確認し、「OK」をクリックする。



■確認④

①～③を確認したら、再度キャリブレーションを行ってください。

目標の横に「」マークはつきますか？付かない場合は再度 1～3 を確認してください。



SelfCorrection 設定がされていれば、モニターの使用時間が 200 時間経過ごとに **SelfCorrection** が実行されます（自動でモニターが調整されます）

- エージングが 60 分以上されていれば、次にモニターがパワーセーブまたは電源オフになった時に **SelfCorrection** が実行されます。
- エージングが 60 分より短い場合は、次にモニターがパワーセーブまたは電源オフになった時に、自動でモニターのエージングが開始されます。エージングを 60 分実施してから、**SelfCorrection** が実行されます。

【参考】

- ・SelfCorrection 実行中は、モニターのボタンのどれかを押せば、いつでも中断できます。
- ・SelfCorrection が完了すると、ColorNavigator 6 上の調整日時が更新されます。

